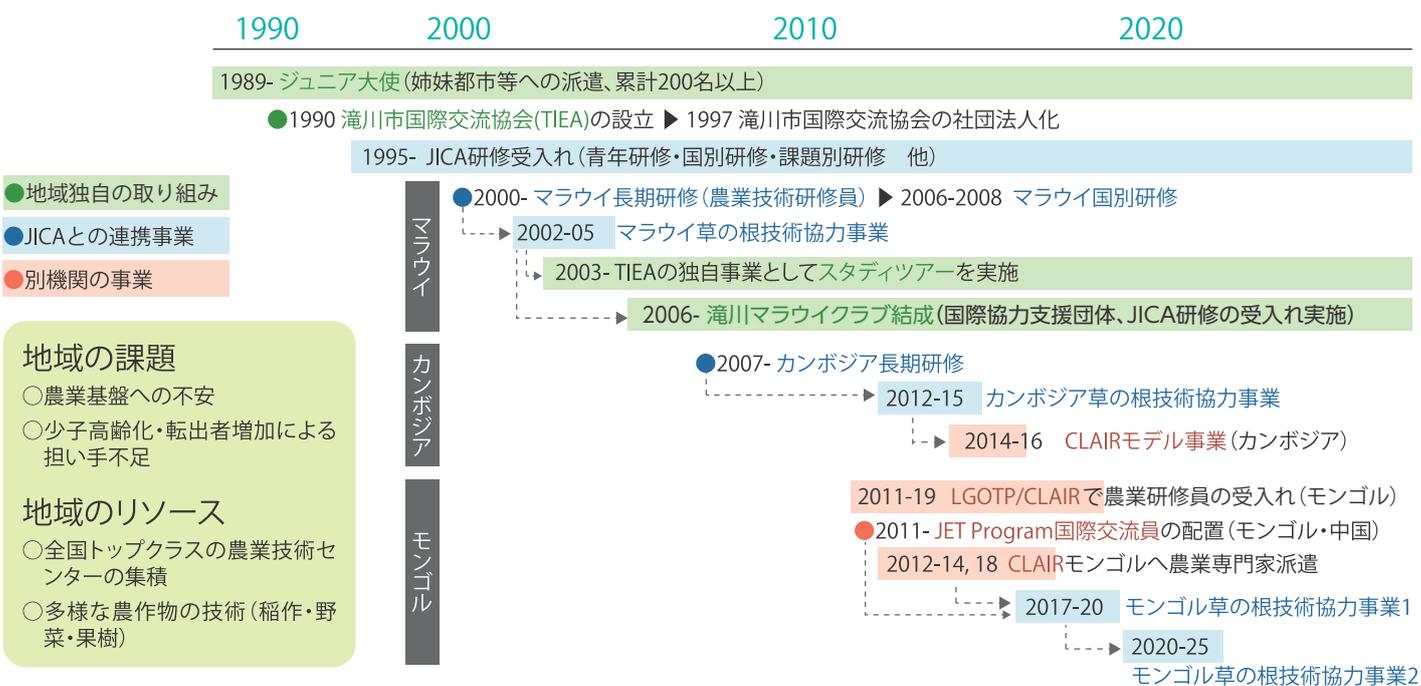


滝川市は、1990年代から滝川国際交流協会 (TIEA) を中心に、国際交流、国際協力、国際教育に積極的に取り組んできています。滝川の地域資源である農業分野では、農業関連施設や農家の方々が参画した研修員受入事業や現地協力を実施してきています。マラウイから農業技術研修員を受け入れたことをきっかけに、農家の方々のマラウイへの関心が高まり、独自のマラウイへのスタディツアーも実施しています。近年は、モンゴルとの交流が盛んとなり、JICA草の根技術協力事業や、CLAIR事業による研修員の受入れ、国際交流員の配置など、多様な国際活動が特徴となっています。

取り組み年表



多様な国際活動を活用した滝川の国際交流・国際協力

滝川市の国際交流

滝川市では1990年代から国際交流・国際協力・国際教育に積極的に取り組んでおり、市が継続して実施している姉妹都市等へのジュニア大使の派遣は、累計200名を超えました。

JICAとの連携の開始

JICAとの連携は、1995年の**研修員受入事業**から始まりました。以降、農業研修を中心に数多くの研修員を受け入れてきました。技術研修に加えて、交流を重視し、休日には市内行事に参加したり、ホームビジット(家庭訪問)・ホームステイを実施するなど、地域住民との交流機会も設定しています。特に、ホームビジットは、夕方の17時～20時の短時間、一般家庭を訪問するプログラムで、子どもがいる世帯から、国際交流の機会として好評を得ています。

マラウイとの国際協力

2000年に、**草の根技術協力事業(地域提案型)**において、マラウイからの**研修員**を4カ月受け入れたことをきっかけに、滝川とマラウイの協力が開始されました。研修の成果

を確認するため、滝川市の関係者がJICA調査でマラウイを訪問したり、受入れ農家がスタディツアーで現地を訪問しました。その後、有志によるマラウイクラブが発足し、マラウイはもちろん、マラウイ以外の国に向けた国際協力にも協力しています。

他機関事業も活用し、様々な国へ国際協力を展開

TIEAが中心となり、マラウイ、カンボジア、モンゴルで、合計4件の**草の根技術協力事業**を実施しています。モンゴルでの国際活動は、CLAIR等の他機関の事業を活用し、研修員受入れ、専門家派遣、モンゴル人の国際交流員の配置などを経て、野菜栽培技術と農産物加工技術指導(フェーズ1)、品種改良による新ブランドの確立とフードバリューチェーンの構築(フェーズ2)に関する**草の根技術協力事業**に発展しました。モンゴルの草の根技術協力事業では、自治体職員協力交流事業(LGOTP)の長期研修員の受入れと連携しながら、現地への技術協力が実施されました。滝川の国際協力は様々な事業を活用し、途上国に展開しています。

JICA国内拠点との協働	JICAからの出向者	国際協力推進員	多文化共生支援	協力隊の関与
自治体連携協力隊派遣	途上国研修員の受入	協力隊派遣前訓練	草の根技術協力事業	民間連携事業
JICA技術協力との連携	開発教育	その他		

地域へのインパクト

地域住民の活力向上

研修員への農業技術の指導や交流を通じて、地域住民も刺激を得ました。スタディツアーで途上国に行くことで、さらなる研鑽への意識が芽生えました。

地域のアイデンティティの強化

農業研修を多数受け入れることで、地域の農業技術の再認識に繋がっています。また、滝川市のビジョンである「国際田園都市」構築にも繋がったと考えられます。

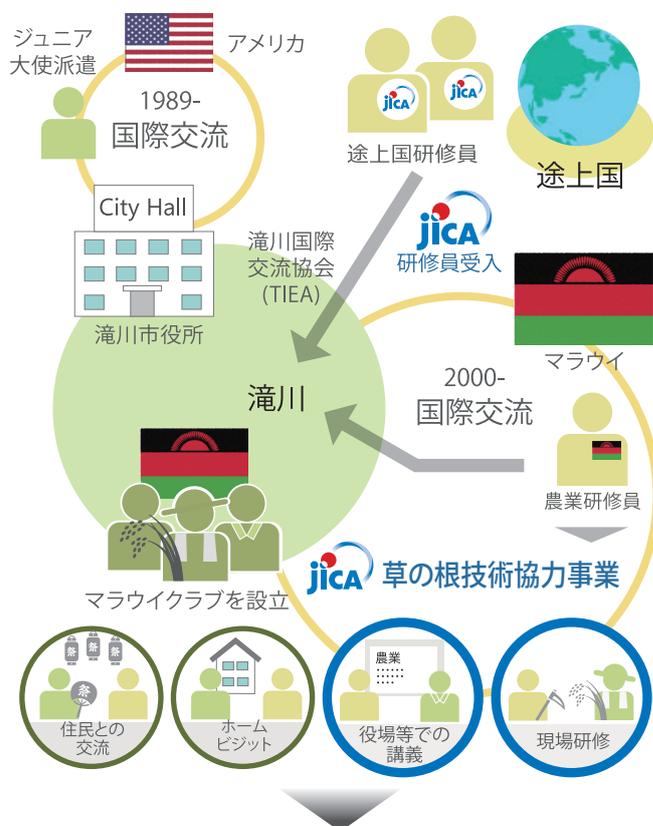
国際意識の向上

研修員との交流イベントや家庭訪問・ホームステイを通じて、地域住民の外国人への抵抗感は減り、国際理解が進みました。

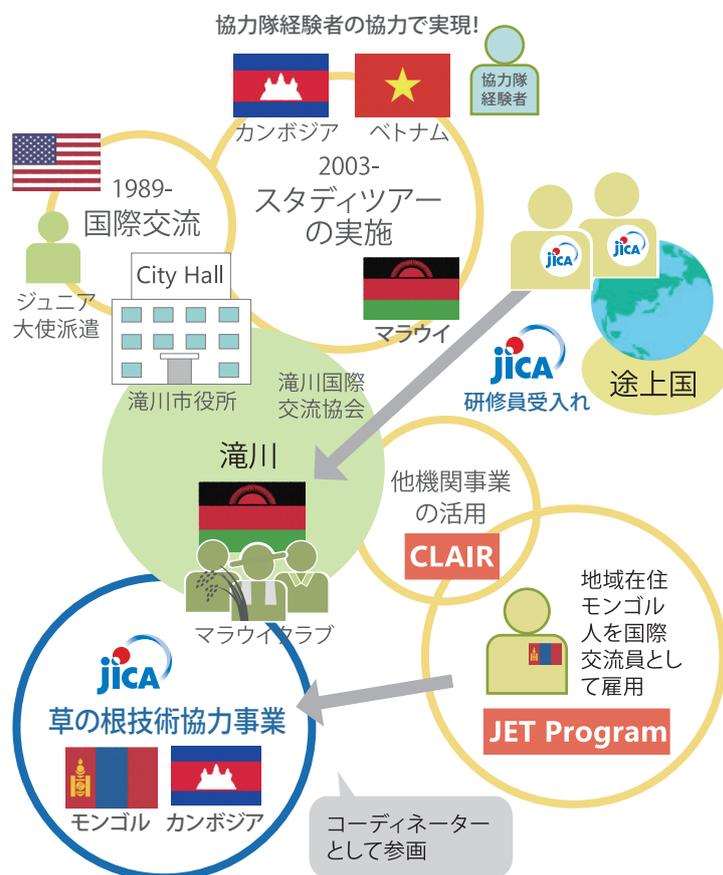
外国人人材確保に向けた機運

人手不足の課題に対し、試験的に外国人の雇用をはじめた企業もあります。外国人を受け入れる環境づくり、多文化共生に向けた取り組みを進める必要性が認識されてきた段階です。

国際交流が盛んな滝川市でJICA研修受入れをきっかけに、マラウイとの交流が開始



交流相手国が増え、滝川町の国際交流が活性化



促進要因

国際交流協会の存在: TIEAが中心となりJICAの研修員受入事業と合わせたイベントの実施や、ホームステイ、他機関の事業の活用など、滝川の国際交流・協力を推進してきました。

市長のビジョンによる後押し: 現市長は国際交流協会の元会長であり、「国際田園都市」のビジョンを掲げ、国際課を設立し、国際協力活動の動きを後押ししました。

キーパーソンの存在: 市役所職員かつ国際交流協会の事務局長を担っていた方が、国際協力への熱意を持ち、地域のアクターを活かしたプログラムを調整しました。

農家の受入れ体制とマラウイクラブの存在: 滝川市の農業研修は、農家の方々に支えられています。農家の繁忙期を避けた研修の受入れ、定年後の農家の方々など、研修を受入れ可能な農家の方々の存在が、研修員受入事業の継続を可能にしました。また、マラウイクラブは、国際活動に携わる農家の連携にも繋がっています。